

令和3年度LCA日本フォーラム総会資料

第1号議案	LCA日本フォーラム役員の選任	1
第2号議案	令和2年度活動報告書	3
第3号議案	令和2年度収支決算書	17
第4号議案	令和3年度活動計画書	19
第5号議案	令和3年度収支予算書	23
第6号議案	LCA日本フォーラム規約の改定	25

参考資料1 令和3年度 専門委員会名簿

参考資料2 LCA日本フォーラム規約

令和3年7月2日

LCA日本フォーラム
事務局：一般社団法人産業環境管理協会

令和3年度LCA日本フォーラム役員

(敬称略)

会長：

(旧) やまもと りょういち
山本 良一 東京大学 名誉教授

(新) いなば あつし
稲葉 敦 一般社団法人日本LCA推進機構 理事長

副会長：

あだち よしひろ
足立 芳寛 東京工科大学客員教授

やました りゅういち
山下 隆一 経済産業省 産業技術環境局長

みぎた あきお
右田 彰雄 一般社団法人日本鉄鋼連盟 環境・エネルギー政策委員会 委員長
日本製鉄株式会社 代表取締役 副社長

おかむら たかよし
岡村 隆吉 一般社団法人日本経済団体連合会

環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部会 部会長代行
太平洋セメント株式会社 常務執行役員

(旧) みべ としひろ
三浦 敏宏 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会 委員長
本田技研工業株式会社 専務取締役

(新) おおつ けいじ
大津 啓司 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会 委員長
本田技研工業株式会社 常務執行役員

(旧) いなば あつし
稲葉 敦 一般社団法人日本LCA推進機構 理事長

(新) げんち ゆたか
玄地 裕 国立研究開発法人産業技術総合研究所
安全科学研究部門 研究部門長

※ 古賀 剛志 氏 は任期満了により退任し、後任はなし。

第1号議案

監事：

ほそかわ ひろゆき
細川 浩之

一般社団法人セメント協会 生産・環境部門 リーダー

おおぶち よしみち
大淵 善道

キヤノン株式会社 環境統括センター環境推進部 製品環境推進課長

令和2年度活動報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1. 会議関係活動

1-1. 総会

◇令和2年 6月30日 於 全国町村会館(永田町)

令和元年度活動報告書(案)、令和元年度収支決算書(案)、令和2年度活動計画書(案)及び令和2年度収支予算書(案)を審議し承認した。

<令和2年度役員(敬称略)>

- | | | |
|---------|-------|---|
| 1. 会長: | 山本 良一 | 東京大学 名誉教授 |
| 2. 副会長: | 稲葉 敦 | 一般社団法人日本LCA推進機構 理事長 |
| | 足立 芳寛 | 東京工科大学 客員教授 |
| | 古賀 剛志 | 特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構 理事 |
| | 飯田 祐二 | 経済産業省 産業技術環境局 局長 |
| | 奥地 弘章 | 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会委員長
トヨタ自動車株式会社
執行役員・先進技術開発カンパニー President |
| | 右田 彰雄 | 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
日本製鉄株式会社 代表取締役 副社長 |
| | 岡村 隆吉 | 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部会 部会長代行
太平洋セメント株式会社 常務執行役員 |
| 3. 監事: | 細川 浩之 | 一般社団法人セメント協会 生産・環境部門 リーダー |
| | 大淵 善道 | キヤノン株式会社 環境統括センター
環境推進部 製品環境推進課長 |

1-2. 運営委員会

2回開催し、総会付議事項等について審議、承認した。

◇第1回 令和2年 6月18日 於 TKP神田駅前ビジネスセンター/web会議システム(teams)

出席: 委員 16名、事務局 2名

議案:

- 1) 総会付議事項について(審議)
- 2) JLCA-DB 海外対応 WG 「The Global LCA Data Access(GLAD) Network」への対応
- 3) LCA 研修の教材改訂について
- 4) 自治体支援プロジェクトの実施

◇第2回 令和3年 2月16日 於 メール審議

出席: 委員 31名、事務局 1名

議案:

- 1) 「ライフサイクルアセスメント(LCA)による Carbon Removal and Recycling (CR2) Technologies の温室効果ガス排出量算定ガイドライン」の発行について

1-3. LCA/DB委員会

1回開催し、LCA日本フォーラムデータベース活用状況の確認と「平成27年度データベース整備事業」を受けての継続作業について報告、検討した。

◇第1回 令和2年 5月18日 於 web会議システム(teams)

出席：委員 11名、オブザーバー 4名、事務局 1名

議案：

- 1) 令和元年度データベース整備事業(継続)について(報告)
- 2) 国際LCA データベースネットワーク活動状況と JLCA-DB の対応
- 3) 一般社団法人日本自動車部品工業会(JAPIA)様情報提供
(LCIガイドラインに基づいて算定したデータ等について)
- 4) 令和元年度 JLCA データベース利用・更新実績について

1-4. 情報企画委員会

2回開催し、セミナー開催、ニュースレター発行計画及び情報発信等の普及活動について検討した。

◇第1回 令和2年 7月22日 於 web会議システム(teams)

出席：委員 9名、事務局 1名

議案：

- ・ 令和2年度セミナー開催計画
- ・ 令和2年度ニュースレター発行計画
- ・ 情報発信、普及活動、会員サービスについて

◇第2回 令和3年 3月22日 於 産業環境管理協会 web会議システム(teams)

出席：委員 9名、事務局 1名

議案：

- ・ 令和2年度 LCA 日本フォーラムセミナー開催実績
- ・ 令和2年度ニュースレター実績報告
- ・ 令和3年度セミナー開催計画
- ・ 情報発信、普及活動、会員サービスについて

1-5. LCA日本フォーラム表彰選考委員会

「令和2年度 第17回LCA日本フォーラム表彰」に関する各賞の最終選考を行った。

◇令和3年 1月6日 於 産業環境管理協会 F 会議室及びweb会議システム(teams)

出席：委員 8名、オブザーバー 3名、事務局 2名

議題：

- ・ 表彰選考WGによる事前審査結果について審議
- ・ 第17回LCA日本フォーラム表彰の最終選考決定について

1-6. LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

2回開催し、「令和2年第17回LCA日本フォーラム表彰」に関する募集要項及び審査基準を検討し、応募申請内容の事前審査を行い、その結果をLCA日本フォーラム表彰選考委員会に提出した。

◇第1回 令和2年 7月17日 於 メール審議

出席：委員 7名、事務局 1名

議題：

- ・ 令和2年第17回LCA日本フォーラム表彰の募集概要及び審査基準(検討)

◇第2回 令和2年12月18日 於 web会議システム(teams)

出席：委員 6名、事務局 1名

議題：

- ・ 令和2年度第17回LCA日本フォーラム表彰の一次審査について

◇事前審査 委員 7名

1-7. JLCA-DB 海外対応ワーキンググループ

3回開催し、「The Global LCA Data Access(GLAD) Network」への対応について審議した。

◇第1回 令和2年 12月10日 於 web会議システム(teams)

出席：委員 7名、オブザーバー 2名、事務局 1名

議題：

- ・ GLAD の現状と今年度の対応について

◇第2回 令和3年2月16日 於 web会議システム(teams)

出席：委員 5名、オブザーバー 1名、事務局 1名

議題：

- ・ 工業会にむけてのアンケートの実施計画について
- ・ 海外のEPDとGLADの動向について

◇第3回 令和3年3月17日 於 web会議システム(teams)

出席：委員 5名、オブザーバー 1名、事務局 1名

議題：

- ・ 工業会にむけてのアンケートの確定

2. JLCAデータベース管理活動

2-1. データベース運用実績

ログイン実績		2,186 件 (前年 2,381 件)
ページ閲覧実績	工業会データ	3,514 件 (前年 2,514 件)
	連結データ	558 件 (前年 593 件)

2-2. データ新規追加・更新状況

■2020年度1版 (2020/4/1-2020/6/30)

◆セメント協会のインベントリデータを3件更新

1. フライアッシュセメントB種製造
2. ポルトランドセメント製造
3. 高炉セメントB種製造

■LCA連結データ公開(2020年7月)「CradletoGate」のインベントリデータ(250品目)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 日本化学工業協会 | 13. 日本ソーダ工業会 |
| 2. 日本自動車部品工業会 | 14. 合成樹脂工業会 |
| 3. 日本ガス協会 | 15. 全国段ボール工業組合連合会 |
| 4. 情報通信ネットワーク産業協会 | 16. カーボンブラック協会 |
| 5. 日本アルミニウム協会 | 17. 塩ビ工業・環境協会 |
| 6. 日本建設業連合会(H30年度更新) | 18. 電子情報技術産業協会 |
| 7. 日本電機工業会 | (令和元年度9件新規追加) |
| 8. 日本製紙連合会 | 19. 日本電線工業 |
| 9. 日本産業・医療ガス協会 | 20. 日本壁装協会 |
| 10. プラスチック循環利用協会 | 21. 炭素繊維協会 |
| 11. 日本ゴム工業会 | |
| 12. エンプラ技術連合会 | |

2-3. 「データベース整備事業」継続

LCA日本フォーラムでは、「平成27年度データベース整備事業」が実施され、工業会データとIDEAとの上流連結作業を行った「LCA連結データ」を整備し、平成28年度に公開(会員限定)した。「LCA連結データ」は、工業会等から提供されている「インベントリ分析用データベース(工業会データ)」に、IDEA ver.2(H29.10)を連結計上した、プロセス合算型(Cradle-to-Gate)データとなっている。令和2年度は、このIDEAがver.2.2からIDEA ver.2.3に更新されたため、連結データの上流連結データも更新した。

また、令和2年度にて、新規に1工業会の GtoG データを連結・公開の支援を予定していたが、希望工業会がなかった。その代替作業として、バックグラウンドデータ IDEA v3 の更新に伴う連結データの更新準備を開始した。

3. 研究会・研修活動

3-1. 「LIME3活用検討」研究会パート2

委員長 稲葉 敦(一般社団法人日本LCA推進機構 理事長)
 副委員長 伊坪徳宏(東京都市大学 環境学部 教授)
 委員 本下晶晴(国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員)
 WGメンバー 富士通株式会社 太平洋セメント株式会社
 TCO2株式会社 住友化学株式会社
 日産自動車株式会社 日軽金アクト株式会社
 株式会社住化技術情報センター
 株式会社三菱ケミカルホールディングス

◇「LIME3活用検討」研究会パート2 実施内容

環境影響評価手法 LIME3の利用方法の解説、指導、事例研究の解釈と考察を進めた。

第5回 令和2年 5月 12日 於 web会議システム(teams)
 第6回 令和2年 7月 16日 於 web会議システム(teams)
 第7回 令和2年 9月 14日 於 web会議システム(teams)
 第8回 令和2年 10月 30日 於 web会議システム(teams)
 第9回 令和2年 12月 8日 於 web会議システム(teams)
 第10回 令和3年 2月 26日 於 web会議システム(teams)

3-2. 「GHGの削減貢献量算定」研究会

委員長 醍醐 市朗(東京大学大学院工学系研究科 特任准教授)
 委員 本下晶晴(国立研究開発法人産業技術総合研究所 主任研究員)
 委員 稲葉 敦(一般社団法人日本LCA推進機構 理事長)
 WGメンバー 株式会社荏原製作所 株式会社デンソー
 TDK株式会社 帝人株式会社
 キヤノン株式会社 三菱電機株式会社
 株式会社リコー みずほ情報総研株式会社

◇「GHGの削減貢献量算定」研究会 実施内容

GHGの削減貢献量の算定方法の解説、指導、事例研究の解釈と考察を進めた。

第3回 令和2年 9月 30日 於 web会議システム(teams)
 第4回 令和2年 12月 4日 於 web会議システム(teams)
 第5回 令和3年 2月 17日 於 web会議システム(teams)

3-3. 「プラスチックのリサイクルを考える」研究会

委員長 中谷 隼(東京大学大学院工学系研究科 講師)
 副委員長 森 史也(みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部)
 WGメンバー 花王株式会社 東罐興業株式会社
 大日本印刷株式会社 日本電気株式会社
 太平洋セメント株式会社 積水化学工業株式会社
 ユニチカ株式会社 味の素株式会社
 日揮グローバル株式会社 日揮ホールディングス株式会社
 ENEOS株式会社 日本環境設計株式会社

国立研究開発法人国立環境研究所(オブザーバー)
 一般社団法人日本LCA推進機構(オブザーバー)
 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課(オブザーバー)

◇「プラスチックのリサイクルを考える」研究会 実施内容

プラスチックに係る算定方法の解説、指導、事例研究の解釈と考察を進めた。

- 第2回 令和2年 4月 14日 於 産業環境管理協会 会議室及びweb会議システム(zoom)
- 第3回 令和2年 6月 3日 於 産業環境管理協会 会議室及びweb会議システム(zoom)
- 第4回 令和2年 6月 26日 於 産業環境管理協会 会議室及びweb会議システム(zoom)
- 第5回 令和2年 7月 30日 於 産業環境管理協会 会議室及びweb会議システム(zoom)
- 第6回 令和2年 8月 20日 於 産業環境管理協会 会議室及びweb会議システム(zoom)
- 第7回 令和2年 10月 14日 於 産業環境管理協会 会議室及びweb会議システム(zoom)
- 第8回 令和2年 12月 17日 於 産業環境管理協会 会議室及びweb会議システム(zoom)
- 第9回 令和3年 2月 19日 於 産業環境管理協会 会議室及びweb会議システム(zoom)

3-4. カーボンリムーバル・リサイクル技術(CR2)研究プロジェクト

WGメンバー	山本 良一 山地 憲治 水谷 広 稲葉 敦 小野 透 磯原 豊司雄 山本 博己 黒沢 厚志 加藤 悦史 河尻 耕太郎 杉山 昌広 桑江 朝比呂 岸本 文紅 伊藤 昭彦 伊坪 徳宏 高橋 伸英 遠矢 伸一郎	東京大学 名誉教授 東京大学/地球環境産業技術研究機構(RITE) 社会地球化学研究所 一般社団法人日本LCA推進機構 日鉄総研株式会社 日本製鉄株式会社 一般財団法人電力中央研究所 一般財団法人エネルギー総合工学研究所 一般財団法人エネルギー総合工学研究所 国立研究開発法人産業技術総合研究所 東京大学 未来ビジョン研究センター 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 国立研究開発法人国立環境研究所 東京都市大学環境学部環境マネジメント学科教授 信州大学 繊維学部教授 株式会社日立製作所
--------	--	--

◇「カーボンリムーバル・リサイクル技術(CR2)研究プロジェクト」実施内容

CR2技術のLCA算定のためのガイドライン策定および文献調査

- 第4回 令和2年 9月 3日 於 web会議システム(Zoom)
- 第5回 令和3年 1月 14日 於 web会議システム(Zoom)

<CR2ガイドラインドラフティングチーム>

メンバー	座長 加藤 悦史 稲葉 敦 磯原 豊司雄 小田 潤一郎	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 一般社団法人日本LCA推進機構 日本製鉄株式会社 地球環境産業技術研究機構(RITE)
------	--------------------------------------	---

カーコーセリム 東京都市大学
佐伯 順子 産業環境管理協会
第4回 令和2年 4月 20日 於 web会議システム(teams)
第5回 令和2年 12月 16日 於 web会議システム(teams)

3-5. JLCA-LCA研修

LCA研修(入門コース)を3会場にて2回(前期、後期)実施した。

◇東京会場

日時① 令和2年9月15日 参加者：23名
日時② 令和3年1月20日 参加者：23名
運営・講師：産業環境管理協会(LCA日本フォーラム事務局)
場所：於 web会議システム(zoom)

◇名古屋会場

日時 令和2年10月15日 参加者：7名
運営・講師：株式会社フルハシ環境総合研究所
場所：名古屋都市センター(名古屋市)

◇大阪会場

日時 令和2年11月11日 参加者：7名
運営・講師：特定非営利活動法人資源リサイクルシステムセンター
場所：おおきに南船場ビル(大阪市)

4. 普及・情報交流活動

4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催

LCA日本フォーラムが主催のセミナーを7回企画・開催した。また、1件のイベントに協力した。

① 令和2年度LCA日本フォーラム総会記念セミナー「ネガティブエミッション技術国内シンポジウム」

日時：令和2年 6月 30日 (火) 13:00-17:10

場所：全国町村会館(総会記念セミナー)

参加者：約140名

内容：NETs 研究プロジェクトの進捗を報告、また産官学からの参加者とNETsの国内外の現状と今後の課題等説明。

開会挨拶

LCA日本フォーラム 会長 山本 良一

<セッション1> 将来展望

基調講演① ネガティブエミッション技術の現在と将来

地球環境産業技術研究機構 副理事長・研究所長 山地 憲治

基調講演② 持続可能な社会の実現に向けた技術開発総合指針の紹介

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

技術戦略研究センターユニット長 矢部 彰

<セッション2> 政策動向

基調講演③ 革新的環境イノベーション戦略について

経済産業省 産業技術環境局 エネルギー・環境イノベーション戦略室 梅原 徹也

国土交通省の環境政策紹介

国土交通省 総合政策局 技術政策課 技術開発推進室 伊崎 朋康

農林水産省の環境政策紹介

農林水産省 大臣官房 環境政策室 久保 牧衣子

環境省の環境政策紹介

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室 相澤 寛史

<セッション3> 技術開発動向とLCA
ネガティブエミッション技術の最新動向

一般財団法人 エネルギー総合工学研究所 加藤 悦史

NETs のLCA ガイドラインの概要と評価事例

産業技術総合研究所 河尻 耕太郎
東京都市大学 セリム・カーコー

総合討論とまとめ

モデレーター 一般社団法人日本LCA推進機構 理事長 稲葉 敦

閉会挨拶

産業環境管理協会 黒岩 進

② 令和2年度 LCA 日本フォーラム主催セミナー:「サーキュラーエコミーとシェアリングエコミー」

日時: 令和2年9月9日(水) 13:30~16:15

場所: オンライン配信(Zoom/youtube 配信)

参加: 約80名

内容: サーキュラーエコミーおよびシェアリングビジネスの最新情報紹介等

基調講演:サーキュラーエコミーを巡る国際・国内動向

東京大学 大学院工学系研究科 教授 梅田 靖

<セッション1> サーキュラーエコミー

サーキュラーエコミーに係る政策紹介

経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 仲田 積実

CEを見える化する資源効率指標の開発

パナソニックETソリューションズ株式会社 田島 章男

<セッション2> シェアリング

シェアリングビジネスの最新動向

シェアリングエコミー協会事務局長 石山 アンジュ

シェアリングサービスの消費者受容性

東京大学 大学院工学系研究科 准教授 栗栖 聖

企業事例①: アイカサ

株式会社 Nature Innovation Group アイカサ 代表取締役 丸川 照司

企業事例②: Laxus

ラクサス・テクノロジーズ株式会社 CGO、PR、マーケティング担当 新川 佳奈

③ 令和2年度 自治体の気候行動計画立案支援プロジェクト設立セミナー:「気候行動計画とライフサイクルアセスメント(LCA)」

日時: 令和2年10月29日(木) 13:15-15:25

場所: オンライン配信(Zoom/youtube 配信)

参加: 約120名

内容: 二酸化炭素排出量の算定方法とLCAの関係を整理して紹介、現在の先進的な自治体の取り組みを紹介

[基調講演] ネットゼロカーボンの意味と海外事例

LCA 日本フォーラム会長(東京大学名誉教授) 山本良一

[招待講演] 地域循環共生圏とゼロカーボンシティの推進

環境省大臣官房環境計画課長 松田尚之

環境省「地方公共団体実行計画策定・実施 マニュアル」とLCAの概念

みずほ情報総研株式会社 平山 智樹

気候変動施策に関する基礎自治体の現状と課題～アンケート調査に基づいて～

芝浦工業大学 栗島 英明

産学公の協創を活用した地域での取組 事例紹介と方法の提案

東京大学未来ビジョン研究センター 菊池 康紀

札幌都心の低炭素で持続可能なまちづくり ～都心エネルギープラン～

札幌市 まちづくり政策局 政策企画部 都心まちづくり推進室 都心まちづくり課

エネルギープロジェクト担当係長 菅原 歩積

閉会挨拶

LCA日本フォーラム副会長(日本LCA推進機構 理事長)稲葉 敦

④ 令和2年度 LCA日本フォーラム国際動向セミナー

日時: 令和3年2月4日(木) 14:00-16:40

場所: オンライン(Zoom/youtube 配信)

共催: 日本LCA学会

参加: 約160名

内容: ISOの開発動向を中心とした国際動向の紹介

<第1部>海外動向

基調講演:地球温暖化をめぐる内外情勢と日本の課題

東京大学公共政策大学院 有馬 純

GLAD および環境フットプリントに関する動向

みずほ情報総研株式会社 古島 康

<第2部>国際規格

ISO/TC207/SC5(LCA)とカーボンニュートラリティ規格の動向

産業環境管理協会 胡桃澤 昭夫

ISO/TC207における環境ファイナンス規格の動向

産業環境管理協会 大野 香代

ISO/TC323(サーキュラーエコミー)の動向

産業環境管理協会 山藤 憲明

<第3部>パネルディスカッション

ISO/TC207などの最新動向

パネリスト

東北大学名誉教授 中村 崇

東京大学大学院 松橋 隆治

日本エネルギー経済研究所 工藤 拓毅

日本LCA推進機構 稲葉 敦

⑤ LCA日本フォーラム25周年記念式典・祝賀会

日時: 令和3年3月11日(木) 14:00-17:15

会場: 全国町村会館/オンライン配信(Zoom/youtube 配信)

参加: 約70名

<式典>

開式挨拶 LCA 日本フォーラム会長 山本 良一
 来賓挨拶 経済産業省 産業技術環境局長 山下 隆一
 一般社団法人日本経済団体連合会専務理事 椋田 哲史
 一般社団法人日本鉄鋼連盟 環境・エネルギー政策委員会委員長
 右田 彰雄

【招待講演】花王株式会社 取締役会長 澤田 道隆 様
 【招待講演】太平洋セメント株式会社 常務執行役員 岡村 隆吉 様

【海外からのビデオメッセージ】

Peter Saling (Convenor of ISO/TC207/SC5, BASF)
 Mmgcharoen Rut (NASDA, Kaseset University)
 Kevin Dooley (Arizona State University)

【パネルディスカッション：次の25年のLCAの新しい展開：各界の立場から今後の期待】

パネリスト 千葉大学大学院 松野 泰也
 産業技術総合研究所 玄地 裕
 電子情報技術産業協会 並河 治
 みずほ情報総研株式会社 加地 靖
 モデレーター 東京都市大学 伊坪 徳宏

<祝賀会>

前LCA日本フォーラム会長挨拶 地球環境産業技術研究機構理事長 茅 陽一
 LCA日本フォーラム設立概略説明 LCA日本フォーラム副会長 稲葉 敦
 感謝状贈呈および挨拶

野口 聡 様(元経済産業省)
 久保田 政一 様(一般社団法人日本経済団体連合会)
 (贈呈者:LCA日本フォーラム会長 山本 良一)

乾杯 LCA日本フォーラム会長 山本 良一
 閉会挨拶 千葉大学大学院 教授 松野 泰也

⑥ LIME3活用検討研究会成果報告会

日時: 令和3年3月17日(木) 14:00-16:40
 場所: オンライン(Zoom/youtube 配信)
 参加: 約80名
 内容: LIME3を活用して自社製品・サービスの算定を実施した研究会の成果報告会

開会挨拶とLIME3活用検討研究会パート2について

伊坪 徳宏

世界におけるライフサイクル影響評価モデルの開発動向

産業技術総合研究所 本下 晶晴

<成果報告>

世界各国で製造されるコンクリートの環境影響評価

太平洋セメント株式会社 桐野 裕介

第 2 号議案

インドネシアにおけるオンサイト型排水処理システムの LIME3 による LCA 評価

株式会社新菱 金子 愛里

電気自動車の LIME3による評価

日産自動車株式会社 磯部 眞弓

5G を活用したオンラインスポーツ観戦の環境影響評価

富士通株式会社 在原 悟(講演者)、永野 友子

飼料添加物メチオニンの環境貢献

住友化学株式会社 林 眞弓

総合討論

モデレータ:稲葉 敦

パネリスト:各企業講演者

⑦ ワークショップ: 「Carbon Removal & Recycle (CR2)の LCA ガイドラインと最新海外動向」

日時: 令和3年3月23日(火) 14:00-15:30

場所: オンライン (Zoom/youtube 配信)

共同主催: 一般社団法人産業環境管理協会

参加: 約100名

内容: LCA 日本フォーラムの LCA ガイドラインの紹介と CR2 技術に関する国際動向の紹介

CR2 研究プロジェクトへの期待

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 山地 憲治

外国での CR2 に関する LCA の動向

一般財団法人エネルギー総合工学研究所 加藤悦史

Overview of Negative emission technologies and CCU (CR2)

Jan Minx

LCA and Techno-Economic Assessment (TEA) for CCU

Volker Sick, University of Michigan

再生可能エネルギーを活用した CO2 資源化技術 ~Power to Chemicals~

株式会社 東芝 御子柴 智

LCA 日本フォーラムの LCA ガイドラインについて

LCAF 稲葉 敦

日本製鉄株式会社 磯原 豊司雄

公益財団法人地球環境産業技術研究機構 小田 潤一郎

【共催・後援イベント】

◇日本 LCA 学会講演会「温室効果ガス排出削減貢献量の活用」

日時: 令和2年2月19日(金) 13:00-16:30

会場: オンライン開催 (ZOOM ウェビナー)

主催: 日本 LCA 学会 企画委員会

共催: LCA 日本フォーラム

4-2. JLCAニュースレター発行

下記のとおりニュースレターを発行(ホームページ掲載)した。

◇第79号: 令和3年 3月 (特集 第17回LCA日本フォーラム表彰 1)

◇第80号: 令和3年 3月 (特集 第17回LCA日本フォーラム表彰 2)

(5. LCA日本フォーラム表彰参照)

4-3. ホームページ 情報更新、普及活動

◇コンテンツの情報更新

・JLCAデータベース: データ新規追加・更新

・LCA日本フォーラム表彰、セミナー、LCA研修等の募集、開催案内、開催報告

◇メール情報配信 21件

LCA、環境効率関連のニュース、フォーラム主催イベント、その他関連情報を、会員に対して発信した。

5. LCA日本フォーラム表彰

LCA、環境効率に係わる優れた活動を表彰する「第17回LCA日本フォーラム表彰」が実施され、「経済産業省産業技術環境局長賞」、「会長賞」、「奨励賞」、「功労賞」を、下記の通り表彰した。

■第17回LCA日本フォーラム表彰 受賞者

部門	受賞者	活動の名称
経済産業省産業技術環境局長賞		
環境 ミニ ケース オン	NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合	LCA を用いた自動車リサイクル部品の CO2 削減効果の定量化と実用化～産学連携による研究と研究成果を活用した普及・啓発～
LCA日本フォーラム会長賞(2件)		
環境 経営	株式会社ダイフク	LCA による製品評価を用いた自社環境配慮製品認定制度の取り組み
環境 経営	三井住友信託銀行株式会社	ポジティブ・インパクト・ファイナンス
LCA日本フォーラム奨励賞(3件)		
環境 経営	旭化成株式会社	LCA の視点を用いた旭化成の環境貢献製品の取り組み
研究・ 教育・ 普及	パナソニックETソリューションズ株式会社 パナソニック株式会社 国立研究開発法人 産業技術総合研究所	サーキュラーエコミー型製品・サービスのための資源効率指標の開発
環境 ミニ ケース オン	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	サーキュラーエコミーに実現に向けてお客様とともに取り組むペットボトルリサイクル

【功労賞】

古賀 剛志 (特定非営利活動法人エコデザイン推進機構 理事/LCA 日本フォーラム副会長)

長縄 肇志 (塩ビ工業・環境協会)

令和2年度LCA日本フォーラム収支決算

1 一般事業収支		(単位：円)			
	科目	令和2年度 予算額	令和2年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
1	会費	14,362,000	14,714,000	352,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 II = 600,000 @ 30,000 円× 18 工業会 III = 540,000 @ 80,000 円× 5 団体 = 400,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 76 優先企業A = 3,800,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 32 一般企業A = 2,560,000 @ 50,000 円× 18 一般企業B = 900,000 @ 30,000 円× 47 一般企業C = 1,410,000 @ 30,000 円× 42 大学等 = 1,260,000 @ 13,000 円× 27 個人 = 351,000 @ 7,000 円× 9 LCA学会会員 = 63,000
	特別DB利用料				
2	セミナー参加費	50,000	116,000	66,000	2020/6/30 総会セミナー 50,000 2020/9/9 セミナー「サーキュラーエコノミーとSDG」 10,000 2021/2/4 国際動向セミナー 49,000 2021/3/17 LIME3成果報告会 7,000
3	雑収入	100	184	84	利息 184
4	特別収支から移管	0	0	0	
当期収入合計(A)		14,412,100	14,830,184	418,084	
II	支出の部				
1	委員会関係費	400,000	132,945	△ 267,055	委員謝金 67,000 委員旅費 0 会場費・会議費 65,945
2	研究会活動費	3,500,000	2,190,136	△ 1,309,864	研究会活動費 (研究会4件程度) 536,159 LCA研修事業 1,653,977
3	システム維持管理費	2,712,340	2,312,039	△ 400,301	データベースサーバー保守・管理費 950,730 レンタルサーバー利用費 121,169 ホームページ更新・管理費 265,100 連結データベース事業継続費 975,040
4	セミナー・シンポジウム	2,900,000	2,594,976	△ 305,024	講師謝金・旅費 355,140 会場費 1,867,553 印刷費 81,065 会議費 12,045 オンラインシステム構築費 279,173
5	LCA表彰費	2,000,000	1,801,089	△ 198,911	委員会、審査関係費 180,288 表彰式、講演会関係費 1,620,801
6	広報誌発行費	300,000	152,000	△ 148,000	原稿料・原稿作成費 152,000 翻訳費 0
7	国際対応活動費	1,130,000	630,000	△ 500,000	海外調査 0 TC207協力金 30,000 エコバランス国際会議協力金 500,000 EcoDesign2019 100,000
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	0	日本LCA学会 100,000
9	特別事業費	1,600,000	1,321,142	△ 278,858	NETs事業 762,199 自治体の気候行動計画立案支援 346,828 CR2ワークショップ運営費 212,115
10	事務局人件費	4,300,000	3,300,000	△ 1,000,000	事業支出額の約30% 3,300,000
11	事務局経費	845,000	994,952	149,952	事務局人件費の約15% 495,000 実費経費 249,976 2020年度実費経費2重計上分 (2021年度差戻) 249,976
当期支出合計(B)		19,787,340	15,529,279	△ 4,258,061	
当期収支差額 (A-B)		△ 5,375,240	△ 699,095	4,676,145	
前年度繰越金 (C)		5,557,409	5,557,409	0	
次期繰越収支差額 (A-B+C)		182,169	4,858,314	4,676,145	

2 特別収支 (システム更新積立金)		(単位：円)			
	科目	令和2年度 予算額	令和2年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
	当期収入合計(D)	0	0	0	
II	支出の部				
1	一般事業収支へ移管	0	0	0	
当期支出合計(E)		0	0	0	
当期収支差額 (D-E)		0	0	0	
前年度繰越金 (F)		7,830,000	0	0	
次期繰越収支差額 (D-E+F)		7,830,000	0	0	

会計監査確認書

令和2年度 LCA 日本フォーラム会計書類を監査し、その正当なることを確認致しました。

令和3年5月10日

監事

東京都中央区日本橋本町1丁目9番4号
一般社団法人セメント協会
生産・環境部門
リーダー

細川 浩之



令和3年5月10日

監事

東京都大田区下丸子3丁目30番2号
キヤノン株式会社
環境統括センター 環境推進部
製品環境推進課長

大淵 善道



令和3年度活動計画書
(2021年4月1日～2022年3月31日)

環境マネジメントに関する国際規格化動向、欧州委員会における環境フットプリントやGHGプロトコルにおけるScope3の進展、あるいは、自治体・工業会におけるGHG排出量の削減貢献量の取り組みなど、サプライチェーン全体を通じたLCAの活用が国内外に広がっている。

こうした中、LCA日本フォーラムは、平成10年からの第1期LCAプロジェクト以来の成果を広く我が国産業界に一元的に公開し続け、LCAの発展に欠くことのできないLCAデータベース(JLCA-DB)の利便性向上を図り、今後の在り方について広く議論を行い、さらなる発展を期すこととする。

その他、今年度も下記を柱とした活動を行う。

- ① LCAデータベース(JLCA-DB)運営管理及び積極的活用の促進
- ② LCA日本フォーラム表彰の実施
- ③ 情報発信活動としてセミナーの開催とニュースレターの発行
- ④ LCAと環境効率の研究会活動とLCA研修事業の実施
- ⑤ 国際動向の積極的な調査

1. 事業内容

1-1. JLCA-DB活用促進及び運営管理に係わる活動の実施

- ① 平成27年度に実施した「データベース整備事業」の成果である「LCA連結データ」について、引続き問合せ対応等のフォローアップを行うほか、今後一層の活用促進のため、連結データの公開を行う意思のある工業会を対象に、連結作業を円滑に進めるための支援事業を実施する。また、上流連結のIDEAv3の更新に伴う連結データの更新を実施する。(支援業務の委託先:産業技術総合研究所および産業環境管理協会)
- ② 国際的なデータベースネットワークの動向について、経済産業省事業および産業技術総合研究所のデータベース(IDEA)事業への協力と情報収集を継続し、フォーラムとしての対応を検討する。特に、The Global LCA Data Access(GLAD) Network に対するフォーラムの対応として、登録意思のある工業会のDBの登録作業をサポートする(登録作業の委託先:TC02 株式会社および産業環境管理協会)。

1-2. LCA表彰事業活動の実施

- ① 日本国内のLCAと環境効率に係わる優れた活動および製品・サービスを表彰する。
 - 「第18回LCA日本フォーラム表彰」 経済産業省産業技術環境局長賞
LCA日本フォーラム会長賞
LCA日本フォーラム奨励賞
功労賞
- ② 表彰式：受賞者の表彰式と表彰記念講演会を実施する。(2022年1月)

1-3. 情報発信活動の実施

- ① LCAと環境効率に関連したセミナーを5回程度開催する。
 - 総会併設セミナー：GHG削減貢献量算定研究会中間報告会と削減貢献量算定の動向(2021年7月2日)
 - フォーラム主催セミナー(2件)：
 - (ア) プラスチックのリサイクルを考える研究会中間報告会(案)(2021年9月)
 - (イ) 自治体行動計画支援セミナー(案)(2021年11月)
- ② 日本LCA学会共催セミナー：国際動向に関するセミナー(2021年12月)
- ③ LCA 表彰記念セミナー：受賞者より講演(2022年1月)
- ④ LCAと環境効率に関連した情報掲載の「フォーラムニュース」を2～3刊程度発刊する。
- ⑤ ホームページのコンテンツの充実を図る。
- ⑥ LIME3活用検討研究会成果報告書(日本語版及び英語版)掲載
- ⑦ データベースの英語ページの拡充
- ⑧ その他、LCA 評価事例の掲載
- ⑨ メールマガジン等により、LCAと環境効率に関連する情報を提供する。

1-4. 研究会活動の実施

- ① 令和2年度に引続き、下記の研究会活動の継続を実施する。
 - 「ICTとSDGs」研究会
 - 「GHG削減貢献量算定」研究会
 - 「プラスチックのリサイクルを考える」研究会

1-5. LCA研修の実施

LCA実施者の裾野を広げるべく、データベースの継続運営、会員サービスへの強化を含めたフォーラム全体の活性化を目的とし、フォーラム主催のLCA研修(入門コース)を実施する。3つの地域会場にて各1~2回程度開催する。

- ・ 東京会場(7月、1月)
- ・ 名古屋会場(9月15日)
- ・ 大阪会場(11月25日)

1-6. CR2 技術研究プロジェクトの継続

昨年度発行した「ライフサイクルアセスメント(LCA)による Carbon Removal and Recycling (CR2) Technologies の温室効果ガス排出量算定ガイドライン」を活用した CR2 技術の LCA 評価事業を進め、CR2 技術の LCA 評価の普及・促進を図る。本事業では、CR2 技術を網羅的に評価することを目的とし、既に評価が進んでいる技術に対しては、ガイドラインに照らし合わせ再評価、評価が進んでいない技術に対しては LCA 評価者による評価を実施する。成果は、セミナー開催、報告書の発行などで国内・外に発信する。

1-7. 自治体の気候行動計画立案支援プロジェクトの継続

昨年度からの活動を継続し、自治体の気候行動計画の立案支援を行う。とくに、2050年あるいは2030年のカーボンニュートラルを目指して気候行動計画を立案する自治体に対して、セミナーを開催しカーボンニュートラルなどの用語およびカーボンフットプリントの計算の仕方など、具体的な計画立案に向けて情報提供する。

1-8. 国際動向調査と国際会議等への協力

- ① 国際動向調査としての国際会議へ専門家を派遣する。
- ② 国際会議、学術会議等への協力(TC207、日本LCA学会等)

2. 年間スケジュール予定

2-1. 総会/委員会

- ① 通常総会 年1回 (7月2日)
- ② 運営委員会 年1回程度 (6月9日)
- ③ LCA/DB委員会 年1回程度 (5月28日)
- ④ 情報企画委員会 年2回程度 (7月、3月)
- ⑤ 表彰委員会 年1回程度 (12月)
- ⑥ 表彰選考ワーキンググループ 年2回程度(7月、11月)

2-2. 情報発信

- ① LCA日本フォーラム表彰 応募期間(8月~10月) 表彰式(1月)

第4号議案

- ② セミナー開催 年6回程度（7月、9月、11月、12月、1月）
- ③ ニュースレター発刊 年2～3刊程度
- ④ ホームページ更新（ニュース配信随時、コンテンツ改訂等）

令和3年度LCA日本フォーラム収支予算(案)

1 一般事業収支		(単位:円)				
科目	令和2年度 予算額	令和2年度 決算額	令和3年度 予算額			
I 収入の部						
1 会費	14,362,000	14,714,000	14,714,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 II = 600,000 @ 30,000 円× 18 工業会 III = 540,000 @ 80,000 円× 5 団体 = 400,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 76 優先企業A = 3,800,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 32 一般企業A = 2,560,000 @ 50,000 円× 18 一般企業B = 900,000 @ 30,000 円× 47 一般企業C = 1,410,000 @ 30,000 円× 42 大学等 = 1,260,000 @ 13,000 円× 27 個人 = 351,000 @ 7,000 円× 9 LCA学会会員 = 63,000		
特別DB利用料						
2 セミナー参加費	50,000	116,000	0	2020/6/30 総会セミナー = 50,000 2020/9/9 セミナー「サイキユラーエコノミーとシ」 = 10,000 2021/2/4 国際動向セミナー = 49,000 2021/3/17 LIME3成果報告会 = 7,000		
3 雑収入	100	184	0	利息	184	
4 2020年度実費経費2重計上の差戻分	0	0	249,976			
当期収入合計(A)	14,412,100	14,830,184	14,963,976			
II 支出の部						
1 委員会関係費	400,000	132,945	400,000	委員謝金 = 200,000 委員旅費 = 50,000 会場費・会議費 = 150,000		
2 研究会活動費	3,500,000	2,190,136	2,200,000	研究会活動費 (研究会4件程度) = 850,000 LCA研修事業 = 1,350,000		
3 システム維持管理費	2,712,340	2,312,039	2,880,000	データベースサーバー保守・管理費 = 950,000 レンタルサーバー利用費 = 150,000 ホームページ更新・管理費 = 300,000 連結データベース事業継続費 = 980,000 GLAD登録事業費 = 500,000		
4 セミナー・シンポジウム	2,900,000	2,594,976	2,200,000	講師謝金・旅費 = 500,000 会場費 = 700,000 印刷費 = 100,000 会議費 = 100,000 オンラインセミナー運営費 = 800,000		
5 LCA表彰費	2,000,000	1,801,089	2,000,000	委員会、審査関係費 = 500,000 表彰式、講演会関係費 = 1,500,000		
6 広報誌発行費	300,000	152,000	400,000	原稿料・原稿作成費 = 200,000 翻訳費 = 200,000		
7 国際対応活動費	1,130,000	630,000	1,030,000	海外調査 = 500,000 TC207協力金 = 30,000 エコバランス国際会議協力金 = 500,000 EcoDesign2021 = 0		
8 日本LCA学会会費	100,000	100,000	100,000	日本LCA学会	100,000	
9 特別事業費	1,600,000	1,321,142	2,800,000	CR2事業 = 2,200,000 自治体の気候行動計画立案支援 = 300,000 CR2報告会運営費 = 300,000		
10 事務局人件費	4,300,000	3,300,000	4,489,193	支出額の約30%	4,489,193	
11 事務局経費	845,000	994,952	873,379	事務局人件費の約15% 実費経費 = 200,000	673,379	
当期支出合計(B)	19,787,340	15,529,279	19,372,572			
当期収支差額 (A-B)	△ 5,375,240	△ 699,095	△ 4,408,596			
前年度繰越金 (C)	5,557,409	5,557,409	4,858,314			
次期繰越収支差額 (A-B+C)	182,169	4,858,314	449,718			

2 特別収支 (システム更新積立金)		(単位:円)			
科目	令和2年度 予算額	令和2年度 決算額			
I 収入の部					
当期収入合計(D)	0	0	0		
II 支出の部					
1 一般事業収支へ移管	0	0	0		
当期支出合計(E)	0	0	0		
当期収支差額 (D-E)	0	0	0		
前年度繰越金 (F)	7,830,000	0	0		
次期繰越収支差額 (D-E+F)	7,830,000	0	0		

LCA日本フォーラム規約

(名称)

第1条 本会は、LCA日本フォーラム（以下「フォーラム」という。）と称する。

(目的)

第2条 フォーラムは、我が国におけるLCA情報センターの役割を果たすことを目的として、経済産業省プロジェクトとして構築されたLCAデータベース（以下、「データベース」という。）の管理運営を行うとともに、学際的、業際的視点に立ち、ライフサイクルアセスメント（以下「LCA」という。）の研究の成果および情報の集積、LCA関係者間の交流促進、並びにLCAの啓発・普及活動を推進することとする。

(事業活動)

第3条 フォーラムは、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) LCAデータベースの維持管理の運営
- (2) 会員へのLCA関連情報提供
- (3) 会員間の交流活動としてのセミナー等の開催および国際交流の実施
- (4) LCA研究の場の提供およびLCA標準化への貢献
- (5) 前各号のほか、目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 フォーラムの会員は、工業会Ⅰ会員、工業会Ⅱ会員、工業会Ⅲ会員、団体等会員、学術組織会員、優先企業会員、工業会Ⅱ登録企業会員、一般企業会員、大学研究室等会員および個人会員とする。

- 2 工業会Ⅰ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力し、利用経費部分については工業会会員企業の自由意思に任せる工業会。
- 3 工業会Ⅱ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力するとともに、当該工業会会員企業のデータベース利用経費部分について工業会として協力する工業会。
- 4 工業会Ⅲ会員は、データベース構築に協力した工業会の内、年間事業規模が別に定める額以下の工業会であって、基本経費部分に協力する工業会。
- 5 団体等会員は、データベース構築に参画しなかった工業会、国公私立の研究機関等であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 6 学術組織会員は、フォーラムの目的および活動に賛同し、基本経費部分に協力する組織。
- 7 優先企業会員は、工業会Ⅰ会員の会員企業であって、データベース利用を行う企業。
- 8 工業会Ⅱ登録企業会員は、工業会Ⅱ会員により登録された企業であって、データベース利用を行う企業。
- 9 一般企業会員は、工業会Ⅰ会員および同Ⅱ会員いずれの工業会の会員企業でなく、基本経費部分に協力するとともにデータベース利用を行う企業。
- 10 大学研究室等会員は、大学の研究室およびそれに準じるグループ又は非営利組織であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 11 個人会員は、いずれの組織に属さない個人であって、基本経費部分に協力するとともに、データベース利用を行う者。

(会費)

第5条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(入退会)

第6条 フォーラムの会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出し、運営委員会の承認を得なければならない。

- 2 会員がフォーラムを退会するときは、別に定める退会届を会長に提出しなければならない。

3 会員が次の各号の一つに該当するときは、~~退会したものとす~~る。になす。

- (1) 法人又は団体が解散又は破産したとき。
 - (2) 死亡又は失踪宣告を受けたとき。
 - (3) 会費を納入せず、督促後6ヶ月を経ても納入しないとき。
- (除名)

第7条 会員が別に定めるLCAデータベース運用規則又は会費規則に違反したときは、運営委員会の3分の2以上の議決をもって除名することができる。

(会長、副会長および監事)

第8条 フォーラムに次の役員を置く。

- (1) 会長1名および副会長若干名
 - (2) 監事2名
- 2 会長は、フォーラムを代表し、会務を統轄する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。
 - 4 監事は、フォーラムの収支決算書の監査を行う。
 - 5 会長、副会長および監事は、総会において選任する。
 - 6 会長、副会長および監事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(顧問)

第8条の2 このフォーラムに、顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、学識経験者又はこのフォーラムに功労のあった者のうちから、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、このフォーラムの運営に関して会長の諮問に答え、又は会長に対して意見を述べる。
- 4 顧問の任期は、2年とする。

(総会)

第9条 総会は会員をもって構成する。

- 2 総会は、会長、副会長および監事の選任、事業計画、予算・決算の承認、その他重要事項を審議し、決定する。
- 3 総会は、毎年1回以上開催する。
- 4 総会は、構成員の2分の1以上の出席をもって構成し、出席者の過半数の同意で議決するものとする。

(運営委員会)

第10条 フォーラムに運営委員会を置き、次の者をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
 - (2) 副委員長 1名
 - (3) 委員 20名程度
- 2 運営委員会の委員長、副委員長および委員は、会員の内から会長が選任する。
 - 3 運営委員会は、フォーラムの活動に関し必要な事項を処理し、委員会に付議する事項を審議する。
 - 4 運営委員会は、運営委員長が必要と認めた場合開催する。
 - 5 第8条第6項の規定およびただし書きは、運営委員会委員長、副委員長および委員の任期に準用する。
 - 6 第9条第4項の規定は、運営委員会の定足数及び議決に準用する。

(部会および委員会)

第11条 運営委員会の議決により、フォーラムに専門部会および専門委員会を置くことができる。

(事務局)

第12条 フォーラムの事務局は、一般社団法人産業環境管理協会に置く。

(規約の改正)

第13条 本規約の改正は、総会の議決により行う。

附 則

1. この規約は、平成7年10月25日より施行する。
2. この規約の改正は、平成16年4月1日より施行する。
3. この規約の改正は、平成17年 4 月1日より施行する。
4. この規約の改正は、令和3年 4 月1日より施行する。

令和3年度LCA日本フォーラム運営委員会 名簿

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	稲葉 敦	一般社団法人日本LCA推進機構		理事長
2	副委員長	田村 潤一	一般社団法人日本鉄鋼連盟	技術・環境部	部長
3	副委員長	深井 泰雄	三菱電機株式会社	生産システム本部 環境推進部	専任
4	委員	足立 芳寛	東京工科大学		客員教授
5	委員	平尾 雅彦	東京大学大学院	工学系研究科 化学システム工学専攻	教授
6	委員	國部 克彦	神戸大学大学院	経営学研究科	教授
7	委員	松野 泰也	千葉大学大学院融合理工学府	地球環境科学専攻	教授
8	委員	伊坪 徳宏	東京都市大学	環境学部 環境経営システム学科	教授
9	委員	水谷 広	社会地球化学研究所		主任研究員
10	委員	大須賀 竜治	一般社団法人日本自動車工業会	安全・環境領域 二部	部長
11	委員	高橋 拓二	一般社団法人日本ガス協会		環境担当部長
12	委員	中原 靖	一般社団法人日本自動車部品工業会	技術部	次長
13	委員	木村 司	一般社団法人電子情報技術産業協会	事業戦略本部 事業推進部	担当部長(環境担当)
14	委員	祖田 敏弘	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
15	委員	濱田 信明	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会	環境部	部長
16	委員	井上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会	産業機械第一部 兼 技術部	部長
17	委員	御手洗 伸太郎	一般社団法人日本建設業連合会		常務執行役
18	委員	細川 浩之	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
19	委員	松浦 弘之	一般社団法人日本ガス石油機器工業会		事務局長
20	委員	中野 直男	一般社団法人日本アルミニウム協会		参与 環境・安全部門長
21	委員	杉戸 豊	石油化学工業協会	業務部	課長
22	委員	三浦 安史	石油連盟	安全管理部	部長
23	委員	藤川 周二	電気事業連合会	立地電源環境部	副部長
24	委員	大石 美奈子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員 協会		代表理事・副会長
25	委員	村上 順二	株式会社日立製作所	サステナビリティ推進本部 環境部	部長代理
26	委員	小林 由典	株式会社東芝	技術企画部 技術戦略室 共創企画担当	エキスパート
27	委員	石川 鉄二	富士通株式会社	サステナビリティ推進本部 環境統括部 環境デザイン部	エキスパート
28	委員	大淵 善道	キヤノン株式会社	環境統括センター 環境推進部 製品環境推進課	課長
29	委員	原 美永子	日本電信電話株式会社	宇宙環境エネルギー研究所 レジリエント環境適応研究プロジェクト ESG経営科学技術グループ	主幹研究員(グループリーダー)
30	委員	梶川 文博	経済産業省 産業技術環境局	環境経済室	室長
31	委員	玄地 裕	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門	研究部門長

令和3年度LCA日本フォーラム LCA/DB委員会

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	松野 泰也	千葉大学大学院融合理工学府	地球環境科学専攻	教授
2	副委員長	磯原 豊司雄	日本製鉄株式会社	技術総括部	首席主幹
3	委員	原田 幸明	一般社団法人 サステナビリティ技術設計機構/ 国立研究開発法人物質・材料研究機構		代表理事/ 名誉研究員
4	委員	田原 聖隆	国立研究開発法人産業技術総合研究所	エネルギー・環境領域 研究戦略部 連携主幹 安全科学研究部門 IDEAラボ	ラボ長
5	委員	醍醐 市朗	東京大学 先端科学技術研究センター	高機能材料分野	准教授
6	委員	祖田 敏弘	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
7	委員	齋藤 潔	一般社団法人日本電機工業会	環境部	担当次長
8	委員	細川 浩之	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
9	委員	棚橋 昭	株式会社デンソー	安全衛生環境部	担当部長
10	委員	金子 一彦	株式会社荏原製作所	リスク管理部 環境推進課	課長
11	委員	森 富士夫	一般社団法人日本ガス協会	企画部環境グループ	
12	委員	小安 克幸	一般社団法人日本アルミニウム協会	安全・環境部門	主査
13	委員	岩切 繁樹	塩ビ工業・環境協会	広報・環境部	部長
14	委員	谷 俊二	日本鋳業協会	技術部	次長
15	委員	柳 善博	日鉄ステンレス株式会社	執行役員 製造本部安全環境防災推進部長	部長
16	委員	瀧ヶ崎 薫	前田建設工業株式会社	ICI総合センター	

令和3年度LCA日本フォーラム情報企画委員会

(順不同・敬称略)

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	伊坪 徳宏	東京都市大学	環境学部 環境経営システム学科	教授
2	委員	菊池 康紀	東京大学	未来ビジョン研究センター	准教授
3	委員	中西 大悟	一般社団法人プラスチック循環利用協会	調査研究部	環境影響評価部長
4	委員	並河 治	株式会社日立製作所	システム&サービスビジネス統括本部 環境推進本部	主管技師
5	委員	木村 祐一	株式会社リコー	環境推進本部 社会環境室 企画グループ	スペシャリスト
6	委員	古米 健治	旭化成株式会社	環境安全部 地球環境対策推進グループ	グループ長
7	委員	柴田 あゆみ	大日本印刷株式会社	包装事業部 IPC製品開発本部 開発製品拡散推進部 価値拡大チーム	
8	委員	小松 郁夫	東洋製罐グループホールディングス株式会社	環境部	ジェネラルマネージャー
9	委員	小笠原 満	トヨタ自動車株式会社	環境エンジニアリング部	主任

令和3年度 LCA日本フォーラム表彰選考委員会

(順不同・敬称略)

No		氏名	所属・役職		
1	委員長	足立 芳寛	東京工科大学	客員教授	
2	副委員長	岡村 隆吉	太平洋セメント株式会社	常務執行役員	
3	副委員長	内山 洋司	一般社団法人日本エレクトロヒートセンター/ 筑波大学	代表理事 会長/ 名誉教授	
4	委員	長谷川 雅巳	一般社団法人日本経済団体連合会	環境エネルギー本部長	
5	委員	國部 克彦	神戸大学大学院	経営学研究科	教授
6	委員	井上 渉	日刊工業新聞社	執行役員 編集局長	
7	委員	大石 美奈子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員 協会	代表理事・副会長	
8	委員	堂脇 清志	東京理科大学	理工学部 経営工学科	教授
9	委員	梶川 文博	経済産業省 産業技術環境局	環境経済室	室長
10	委員	星野 岳穂	東京大学	工学部 マテリアル工学科	特任教授

令和3年度 LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	成田 暢彦	愛知学院大学 (元 名古屋産業大学 学部長・教授)	総合政策学部	非常勤講師
2	委員	中畠 道靖	関西大学	商学部	教授
3	委員	宇郷 良介	湘南工科大学	工学部 人間環境学科	教授
4	委員	芝池 成人	一般社団法人日本LCA推進機構 (元東京工科大学 教授)		研究主幹
5	委員	本下 晶晴	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門持続可能システム 評価研究グループ	研究グループ長
6	委員	根村 玲子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員 協会		環境委員会 副委員長
7	委員	青木 良輔	Office RECHO (元 一般社団法人産業環境管理協会 技術参与)		

令和3年度LCA日本フォーラム JLCA-DB海外対応WG

(順不同・敬称略)

		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	齋藤 潔	一般社団法人日本電機工業会	環境部	担当次長
2	委員	磯原 豊司雄	日本製鉄株式会社	技術総括部	上席主幹
3	委員	棚橋 昭	株式会社デンソー	安全衛生環境部	担当部長
4	委員	横山 亮	TDK株式会社	サステナビリティ推進本部 安全環境 グループ	課長
5	委員	田原 聖隆	国立研究開発法人産業技術総合研究所	エネルギー・環境領域 研究戦略部 連携主幹 安全科学研究部門 IDEAラボ	ラボ長
6	委員	古島 康	みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社	環境エネルギー第2部	上席主任コンサルタント
7	委員	正嶋 宏一	TCO2株式会社		代表取締役

LCA日本フォーラム規約

(名称)

第1条 本会は、LCA日本フォーラム（以下「フォーラム」という。）と称する。

(目的)

第2条 フォーラムは、我が国におけるLCA情報センターの役割を果たすことを目的として、経済産業省プロジェクトとして構築されたLCAデータベース（以下、「データベース」という。）の管理運営を行うとともに、学際的、業際的視点に立ち、ライフサイクルアセスメント（以下「LCA」という。）の研究の成果および情報の集積、LCA関係者間の交流促進、並びにLCAの啓発・普及活動を推進することとする。

(事業活動)

第3条 フォーラムは、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) LCAデータベースの維持管理の運営
- (2) 会員へのLCA関連情報提供
- (3) 会員間の交流活動としてのセミナー等の開催および国際交流の実施
- (4) LCA研究の場の提供およびLCA標準化への貢献
- (5) 前各号のほか、目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 フォーラムの会員は、工業会Ⅰ会員、工業会Ⅱ会員、工業会Ⅲ会員、団体等会員、学術組織会員、優先企業会員、工業会Ⅱ登録企業会員、一般企業会員、大学研究室等会員および個人会員とする。

- 2 工業会Ⅰ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力し、利用経費部分については工業会会員企業の自由意思に任せる工業会。
- 3 工業会Ⅱ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力するとともに、当該工業会会員企業のデータベース利用経費部分について工業会として協力する工業会。
- 4 工業会Ⅲ会員は、データベース構築に協力した工業会の内、年間事業規模が別に定める額以下の工業会であって、基本経費部分に協力する工業会。
- 5 団体等会員は、データベース構築に参画しなかった工業会、国公私立の研究機関等であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 6 学術組織会員は、フォーラムの目的および活動に賛同し、基本経費部分に協力する組織。
- 7 優先企業会員は、工業会Ⅰ会員の会員企業であって、データベース利用を行う企業。
- 8 工業会Ⅱ登録企業会員は、工業会Ⅱ会員により登録された企業であって、データベース利用を行う企業。
- 9 一般企業会員は、工業会Ⅰ会員および同Ⅱ会員いずれの工業会の会員企業でなく、基本経費部分に協力するとともにデータベース利用を行う企業。
- 10 大学研究室等会員は、大学の研究室およびそれに準じるグループ又は非営利組織であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 11 個人会員は、いずれの組織に属さない個人であって、基本経費部分に協力するとともに、データベース利用を行う者。

(会費)

第5条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(入退会)

第6条 フォーラムの会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出し、運営委員会の承認を得なければならない。

- 2 会員がフォーラムを退会するときは、別に定める退会届を会長に提出しなければならない。

3 会員が次の各号の一つに該当するときは、退会したものとします。

- (1) 法人又は団体が解散又は破産したとき。
 - (2) 死亡又は失踪宣告を受けたとき。
 - (3) 会費を納入せず、督促後6ヶ月を経ても納入しないとき。
- (除名)

第7条 会員が別に定めるLCAデータベース運用規則又は会費規則に違反したときは、運営委員会の3分の2以上の議決をもって除名することができる。

(会長、副会長および監事)

第8条 フォーラムに次の役員を置く。

- (1) 会長1名および副会長若干名
 - (2) 監事2名
- 2 会長は、フォーラムを代表し、会務を統轄する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。
 - 4 監事は、フォーラムの収支決算書の監査を行う。
 - 5 会長、副会長および監事は、総会において選任する。
 - 6 会長、副会長および監事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(総会)

第9条 総会は会員をもって構成する。

- 2 総会は、会長、副会長および監事の選任、事業計画、予算・決算の承認、その他重要事項を審議し、決定する。
- 3 総会は、毎年1回以上開催する。
- 4 総会は、構成員の2分の1以上の出席をもって構成し、出席者の過半数の同意で議決するものとする。

(運営委員会)

第10条 フォーラムに運営委員会を置き、次の者をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
 - (2) 副委員長 1名
 - (3) 委員 20名程度
- 2 運営委員会の委員長、副委員長および委員は、会員の内から会長が選任する。
 - 3 運営委員会は、フォーラムの活動に関し必要な事項を処理し、委員会に付議する事項を審議する。
 - 4 運営委員会は、運営委員長が必要と認めた場合開催する。
 - 5 第8条第6項の規定およびただし書きは、運営委員会委員長、副委員長および委員の任期に準用する。
 - 6 第9条第4項の規定は、運営委員会の定足数及び議決に準用する。

(部会および委員会)

第11条 運営委員会の議決により、フォーラムに専門部会および専門委員会を置くことができる。

(事務局)

第12条 フォーラムの事務局は、社団法人産業環境管理協会に置く。

(規約の改正)

第13条 本規約の改正は、総会の議決により行う。

附 則

1. この規約は、平成7年10月25日より施行する。
2. この規約の改正は、平成16年4月1日より施行する。
3. この規約の改正は、平成17年4月1日より施行する。

